



鞠の浦学園だより

No.14
2021年(令和3年)10月29日



勝ち負けを超えるところにあるもの…

～人と比べるゆがんだ優越感や劣等感は捨てさせたい。～

良い天気にも恵まれ、運動会を祝ってくれました。

気温も上がり、水分補給の心配をしましたが、大きなけがや事故もなく、無事に終わることができました。

保護者や地域の方には、コロナ禍の開催にあたり、ご理解ご協力いただき、本当にありがとうございました。限られた時間の中でも、運動会実行委員会の子ども達は、企画・運営に関わり、素晴らしい行動力を示しました。

運動会が終わった放課後、9年生担任から次のことを聞きました。

「赤組、白組のどちらが勝ったか、昼休憩に校内放送がありました。赤組の勝ちが放送された時、ほかの学年のように大きな喜び、歓声はありませんでした。白組のみんなも一生懸命やってきたので、赤組であった生徒は自分達だけが勝ったことを喜べなかったんだと思います。」



放送担当の皆さんありがとうございました！

涙が出るほどうれしかったと聞きました。おそらく、涙を止めることができなかったのでしょう。涙を流せるからこそ、子ども達をここまで成長させることができるのです。互いに信頼し合うことができるのです。

勝ち負けを経験して、喜びや悔しさを経験するのも貴重です。とても大きな学びがそこにはあります。9年生もこれまでそのことをきっと体験してきました。今回は、それを超えるものを経験しています。

誰かよりも良くできることには優越感を、できないことには劣等感を感じるがあります。いや、そのような気持ちにさせるのは、本当はまわりの環境や対応が一番の問題なのかもしれません。

優越感を持って相手をバカにしたり、劣等感を持って自信を無くしたりすることがないようにする。人と比べて「できる」「できない」ではなく、これまでの自分と比べて「できる」「できない」を考える。自分自身をしっかりと考え行動できる力を付けさせたい。

勝ち負けを経験し、勝ち負けを超えるところにあるものをめざし、教育内容、教育活動を進めます。人と比べるゆがんだ優越感や劣等感は捨てさせたい。2学期も半分が過ぎました。残りの2ヶ月弱、子ども達がさらなる成長を実感できる取組を続けます。

みんなの力で開催できた運動会…感謝！

銀鱗躍動！～Burn it up～

「運動会」という最高の作品を創りあげることができました！



赤組団長：「練習中困った時に仲間に相談すると、必ず答えが返ってくる。そこが嬉しかったです。」

白組団長：「きびしさの中にも声と笑顔を忘れず頑張りぬくことができました。仲間に感謝です。」



「なでしこ太鼓」が運動場に響きわたると運動会の幕開けです！



5・6年生全員と7～9年の「盛り上げ隊」による「ソーラン」。テンポの速さに苦戦しながらも、全員で声を出し合い、初の披露を迎えました。学年を超えて支え合い、躍動する姿に成長を感じました。



1・2年生の表現活動は入退場も笑顔の花であふれていました！



7・8・9年の「綱奪い」は迫力満点！応援に力が入りました。



旗を振り下ろす時の音にまでこだわった3・4年生の表現活動。

運動会の様子は実行委員カメラ係が記録し、編集～配信までを担当します。保護者の皆様には、配信準備ができ次第お知らせします。